

三小タイムズ

令和3年5月28日発行 校長 辻 久恵

国語授業 (5年3組)

単元名 人とねずみの「はい、チーズ！」

本時のねらい

絵と解説文を手がかりに、人とねずみが「はい、チーズ！」という言葉で笑顔になるわけを読み、同じ言葉が異なる働きをすることに気付く。

学習の展開

- 1 単元名と教材名、単元のとびらのリード文などから、学習の見通しをもつ。

同じ言葉をつかってもことなるはたらきをする

○ことなるとは？

- ・あるものが他のものと同じでない。
- ・ちがっている。

- 2 「はい、チーズ！」という言葉を読みたり使ったりしたことは、あるか、どのような場面で使うか、思い出して話し合う。

●「はい、チーズ」という言葉を言うと、表情にどのような変化がおこるか実際に行う。

- ・笑顔になる。
- ・ピースをする。

○「はい、チーズ！」検索してみましよう。

- ・チーで口角が上がり笑顔になる。
- ・CM おいしいものの笑顔。
- ・チーズがおいしかったから。

- 3 「はい、ちーず！」という言葉が笑顔を作り出すことについて、人の場合とねずみの場合を比べて話し合う。

○人の場合はどうですか。

- ・口角が笑顔に近い形になる。
- ・反射的にポーズをとる。

○ねずみの場合はどうですか。

- ・好物のチーズを思い浮かべてうれしくなった結果として笑顔になる。

- 4 「どうやら、同じ言葉でもことなるはたらきをするようです。」について考える。

○「はい、チーズ！」という言葉が人とねずみにどのようにはたらくかノートに書いては発表しましょう。

- ・同じ言葉でも相手がねずみだと違った意味になってくることがある。
- ・どういう時に同じ言葉で違った意味になってくるのか。
- ・人とねずみは違う。人と人の場合はどうなのだろう。

- 5 次時の予告をする。

言葉の働きについて考えていこう

